

平成26年度 予算事業説明シート

事務事業名	農業委員会運営事業	新規/継続	継続事業	<small>事務事業の総点検の整理番号</small>	4505001000-001	
		予算所管課	農業委員会事務局			
		連絡先	(078)918-5063			
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課			
	款	農林水産業費	連絡先			
	項	農業費	自治/法定	自治+法定	開始年度	昭和 27 年度
	目	農業委員会費	根拠法令・要綱等	農地法・農業委員会等に関する法律等		
	事業	農業委員会運営事業				
施策分野						
個別計画						
実施方法		直営	○	補助・助成		その他
		委託		指定管理		

事業の目的	対象（誰を・何を）	明石市内の農地と農業者				
	意図（どういう状態にしたいのか）	①農業生産力の向上と農業経営の合理化を進め、農業者の地位の安定・向上を図る。 ②農地の転用を規制する。 ③農地を効率的に利用する農業者の農地の権利取得を促進し、農地の利用関係を調整する。				
	事業内容	①農業委員会を毎月開催する。各回の開催にあたり議案審議に伴う現地調査を行う。 ②農地の権利移動 平成22年度26件24,785㎡ 平成23年度13件13,344㎡ 平成24年度19件 17,879㎡ ③農地の転用 平成22年度159件113,041㎡ 平成23年度207件134,577㎡ 平成24年度 246件 183,087㎡ ④諸証明 平成22年度72件 平成23年度75件 平成24年度78件 ⑤農地パトロールの実施 平成22年度 10月に実施、その後指導した結果、2月1日に是正状況を確認したところ、遊休農地が11筆1.08haとなった。 平成23年度 10月、2月に実施。昨年度末に遊休農地であった1.1haについては、1.0haを解消したが新たに1.4haの遊休農地が発生した。 平成24年度 7月、11月、12月に実施。昨年度末に遊休農地であった1.5haについては、1.1haを解消したが新たに1.7haの遊休農地が発生した。 平成25年度 5月、7月、8月、10月、11月、12月に実施。是正改善等を要する不耕作地の所有者（耕作者）に指導中。 ⑥事業目標の設定 平成21年度に、農林水産省の指示により事業目標を設定し、これに沿った取組みを行うため「平成21年度の目標及びその達成に向けた活動計画」を策定し、平成22年度以降、計画の点検・評価及び当該年度の計画を策定した。平成26年度も同様に、当該年度の行動指針たる目標の設定と、前年度の点検・評価を行う。 ⑦今後の取組み ・上記のこと、継続して実施する。 ・農地法の改正により義務化された「遊休農地対策」としての調査、指導を強化する。 ・農地管理事務を効率的に遂行するため、農地基本台帳システムの有効活用を図る。 ・「人・農地プラン」の啓発と推進を支援する。				

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	7/11/1	7/11/2	その他
24決算	16,560	39,600	56,160	1,725	0	209	54,226	正規	4.00	7/11/1	0.00
25当初予算	16,969	39,200	56,169	1,725	0	189	54,255	再任用	1.00	その他	0.00
26当初予算	18,549	39,200	57,749	5,373	0	191	52,185	任期付	1.00	合計	6.00

区分（節）	内容	金額		区分（節）	内容	金額	
							25年度当初予算事業費明細
報酬	農業委員報酬(27名)分	15,634		報酬	農業委員報酬(27名)分 ※7月より4名減員	13,778	
旅費	全国会長大会派遣等旅費	180		旅費	全国会長大会派遣等旅費	170	
交際費	会長交際費	60		交際費	会長交際費	60	
需用費	消耗品費等(食糧費を含む)	588		需用費	消耗品費等(食糧費を含む)	539	
委託料	農地基本台帳システム維持保守料	158		委託料	農地地図情報システム導入費 農地基本台帳システム維持保守料	3,662	
その他		349		その他		340	
合計（A）			16,969	合計（B）			18,549

予算増減 (B)-(A)	1,580	主な理由	農地地図情報システム導入にかかる経費計上。(増要因) 選挙委員定数を4名減員したことによる委員報酬減。(減要因)
-------------------------	-------	-------------	---

平成26年度 予算事業説明シート

事務事業名	農業一般振興事業	新規/継続	継続事業	<small>事務事業の総点検の整理番号</small>	0150003000-001	
		予算所管課	産業振興部農水産課			
		連絡先	(078)918-5017			
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課			
	款	農林水産業費	連絡先			
	項	農業費	自治/法定	自治+法定	開始年度	不明
	目	農業振興費	根拠法令・要綱等	特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律ほか		
	事業	農業一般振興事業				
施策分野	3 産業・観光分野 3-2 農業の振興	実施方法	直営 <input type="radio"/>	補助・助成 <input type="radio"/>	その他 <input type="radio"/>	
個別計画	農業基本計画	委託 <input type="radio"/>	指定管理 <input type="radio"/>			

事業の目的	対象（誰を・何を） 市内農業者及び一般市民
	意図（どういう状態にしたいのか） 明石市農業が魅力ある産業となり、「市民みんなが農業を支え 農業が元気になり 明石全体が豊かになる」ことを目的として、農業振興施策を計画的に推進し、以って本市農業の振興と発展に資する。

事業内容	<p>①ヘアリーベッジやレンゲなどの緑肥作物を作付けし、減化学肥料・減農薬の農産物生産の取り組む農業者に対して助成を行うことで、環境保全型農業を推進する。(24年度 28経営体 13.4ha、25年度予定 27経営体 17.6ha、26年度予定 30経営体 21ha)</p> <p>②明石の農業を維持・発展するため、県、JAと共に担い手育成支援事業に取組み、認定農業者の育成や、担い手に対する研修を行うとともに、農業経営基盤強化資金(スーパーL資金)を借入れた認定農業者に利子補給する。(25年度 認定農業者数 45経営体、スーパーL借入 1件)</p> <p>③市が明石市農業再生協議会を通じて農会に、関係文書の配布及び各農業者との連絡調整、農業経営基盤強化促進法の規定に基づく通知、申請等にかかる文書の伝達並びに実施状況の確認、水稲作況調査等各種農業統計並びに調査に関する事、市の発行する農業者向け広報文書の配布及びその他地区内の連絡調整を委託する。(市内 50農会)</p> <p>④鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律等に基づく鳥獣の捕獲及び保護に関すること並びに専門的な指導に関することを社団法人兵庫県猟友会明石支部に業務委託する。 (有害鳥獣数: 21年度36頭、22年度20頭、23年度31頭、24年度20頭、25年度36頭(見込))</p>
	<p>(根拠法令・要綱等の続き) 食料・農業・農村基本法、明石市と農会等との連携に関する要綱、有害鳥獣捕獲事務取扱要領、農業振興地域の整備に関する法律、農業経営基盤強化促進法、明石市担い手育成総合支援協議会規約、明石市農業経営基盤強化資金利子補給金交付要綱</p>

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	1/3	7/10	0.40
24決算	4,464	11,760	16,224	2,290	0	0	13,934	正規	1.35	7/10	0.40
25当初予算	4,700	12,265	16,965	648	0	1,423	14,894	再任用	0.10	その他	0.00
26当初予算	3,250	12,265	15,515	845	0	17	14,653	任期付	0.00	合計	1.85

	区分(節)	内容	金額		区分(節)	内容	金額
需用費	消耗品費 修繕料 食糧費	233	需用費	消耗品費 修繕料 食糧費	273		
委託料	地区農会長協議会委託・有害鳥獣等捕獲委託・農業振興図面	1,570	委託料	地区農会長協議会委託・有害鳥獣等捕獲委託	1,120		
負担金補助及び交付金	スーパーL資金利子補給事業・近代化施設整備事業・環境保全型農業直接支援対策事業・その他負担金	2,327	負担金補助及び交付金	スーパーL資金利子補給事業・環境保全型農業直接支援対策事業・その他負担金	1,275		
その他	使用料 旅費	312	その他	使用料 旅費	324		
合計(A)			4,700	合計(B)			3,250

予算増減(B)-(A)	-1,450	主な理由	農業振興図面作成事業、近代化施設整備事業を実施しないため。
--------------------	---------------	-------------	-------------------------------

平成26年度 予算事業説明シート

事務事業名	水田農業振興対策事業	新規/継続	継続事業	<small>事務事業の総点検の整理番号</small>	0150003000-002		
		予算所管課	産業振興部農水産課				
		連絡先	(078)918-5017				
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課				
	款	農林水産業費	連絡先				
	項	農業費	自治/法定	自治+法定	開始年度	不明	
	目	農業振興費	根拠法令・要綱等	食料・農業・農村基本計画、主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律、農業者戸別所得補償制度実施要綱			
	事業	水田農業振興対策事業					
施策分野	3 産業・観光分野 3-2 農業の振興	実施方法	直営	補助・助成	○	その他	
個別計画	農業基本計画	委託	○	指定管理			
事業の目的	対象（誰を・何を） 市内農業者及び一般市民						
	意図（どういう状態にしたいのか） 国の農業施策（経営所得安定対策）に併せて、食料自給力の向上、水田農業経営の安定化、地域水田農業の振興を図る。また、水田を活用したイベントや景観作物の助成を行い、農業者と市民の交流の場づくりや安全・安心の農産物の供給など、市民に「農」を提供し、地域農業の大切さや理解を深めてもらう。						
事業内容	<p>①水田農業に係る補助金 イベント・景観作物助成 米作り体験やレンゲ・コスモス祭など水田を活用した取組みに対して助成する。 イベント助成（平成24年度 7団体、平成25年度予定 9団体、平成26年度予定 9団体）</p> <p>②生産調整に係る農会に対する委託費 明石市農業再生協議会を通じて市内50農会が行う生産調整に関する事務を委託する。</p> <p>③経営所得安定対策に係る補助金 経営所得安定対策の実施主体である明石市農業再生協議会へ補助金を支払う。</p>						

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	1/2	その他	
24決算	6,685	6,750	13,435	3,610	0	0	9,825	正規	1.20	7/10	0.00
25当初予算	4,929	9,960	14,889	3,626	0	0	11,263	再任用	0.00	その他	0.00
26当初予算	4,864	9,960	14,824	3,555	0	1,400	9,869	任期付	0.00	合計	1.20

区分（節）	内容	金額	区分（節）	内容	金額
報償費	農業再生協議会委員報償	59	報償費	農業再生協議会委員報償	59
旅費	近接地旅費	20	旅費	近接地旅費	10
需用費	消耗品費	150	需用費	消耗品費	95
委託料	農会委託料	600	委託料	農会委託料	600
負担金補助及び交付金	水田農業振興対策事業補助金 経営所得安定対策推進事業	4,100	負担金補助及び交付金	水田農業振興対策事業補助金 経営所得安定対策推進事業	4,100
合計（A）		4,929	合計（B）		4,864

予算増減 (B)-(A)	-65	主な理由	近接地旅費及び消耗品費の削減のため
-------------------------	------------	-------------	-------------------

平成26年度 予算事業説明シート

事務事業名	野菜産地育成事業	新規/継続	継続事業	<small>事務事業の総点検の整理番号</small>	0150003000-003			
		予算所管課	産業振興部農水産課					
		連絡先	(078)918-5017					
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課					
	款	農林水産業費	連絡先					
	項	農業費	自治/法定	自治事務	開始年度	不明		
	目	農業振興費	根拠法令・要綱等	野菜生産出荷安定法 野菜流通改善実施要領 明石市野菜需給安定事業実施要綱				
	事業	野菜産地育成事業						
施策分野	3 産業・観光分野 3-2 農業の振興	実施方法	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="radio"/>	その他	<input type="checkbox"/>
個別計画	農業基本計画		委託	<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>		

事業の目的	対象（誰を・何を）	市内野菜生産者
	意図（どういう状態にしたいのか）	野菜の試験栽培、農業近代化施設整備補助などを通じて野菜農家の経営安定化を支援することにより、高齢化、後継者不足のため生産量、販売農家戸数が減少傾向にある市内の野菜生産の生産量維持・増加と県下有数の野菜産地の維持を図る。

事業内容	①野菜生産振興事業	明石市の特産であるキャベツ・ブロッコリーの品種統一を図り、産地を強化するため、明石市園芸連合会に対して産地形成支援を行う。 (H24: キャベツ14種類 ブロッコリー9種類 H25: キャベツ15種類 ブロッコリー9種類)
	②パイプハウス導入補助	都市近郊型農業に適しているパイプハウスを利用した農作物の生産促進のため、パイプハウスの資材代の助成を行う。 (県1/3、市1/5補助)(H24: 2棟(地産池消推進事業により実施) H25実績なし)
	③産地育成試験	キャベツやブロッコリーなど明石の気候に適した品種の選定や生産性の向上を図るため、野菜品種比較試験、新規野菜試験等の栽培試験を明石市園芸連合会等に委託する。

事業のコスト (単位: 千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アハハ	再任用	その他
24決算	1,985	7,150	9,135	0	0	0	9,135	0.95	0.00	0.10	0.00
25当初予算	2,244	8,065	10,309	834	0	0	9,475	0.00	0.00	0.00	0.00
26当初予算	2,540	8,065	10,605	800	0	0	9,805	0.00	0.00	0.00	1.05

25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	消耗品費・食糧費	60		20		
委託料	産地育成試験 野菜品種比較試験栽培委託料	380	380				
負担金補助及び交付金	野菜産地育成事業、パイプハウス導入補助	1,684	2,050				
その他	旅費 使用料等	120	90				
合計(A)			2,244	合計(B)			2,540

予算増減(B)-(A)	296	主な理由	パイプハウス導入補助の地産池消推進事業との統合。
--------------------	-----	-------------	--------------------------

平成26年度 予算事業説明シート

事務事業名	地産地消推進事業	新規/継続	継続事業	事務事業の総点検の整理番号	0150003000-005			
		予算所管課	産業振興部農水産課					
		連絡先	(078)918-5017					
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課					
	款	農林水産業費	連絡先					
	項	農業費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 15 年度		
	目	農業振興費	根拠法令・要綱等	明石市第5次長期総合計画				
	事業	地産地消推進事業						
施策分野	3 産業・観光分野 3-2 農業の振興		実施方法	直営	補助・助成	○	その他	
個別計画	農業基本計画		委託	○	指定管理			

事業の目的	対象（誰を・何を）	市内の農漁業者及び一般市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	地元でとれた農水産物を地元で消費拡大することで、農・漁業者の経営安定を図るとともに、消費者との「顔のみえる」関係を通じて食の安全・安心を確立する。また、市民を対象としたイベントを実施し、食の大切さをアピールし、地産地消を推進していく。

事業内容	明石市地産地消推進実行委員会に次の事業を委託し、地産地消の取組みを推進する。	
	①	小学生と保護者を対象に農作物の栽培・収穫体験等の実施。(H15～) さつまいも、もち米の田植えと稲刈り、スイートコーンの収穫体験、小学3年生の授業にとり入れたキャベツの植付けと収穫体験を実施する。
	②	加工商品、素材を生かしたレシピの開発や、イベントなどの実演販売を行い、地元産農水産物の消費拡大を促進する。
	③	10月下旬に行われる兵庫県農林漁業祭に出展し、明石市内で生産されている農産物や明石の海で獲れる水産物、また、それらを使った加工品等の販売を行い、地元はもとより広く県内外にPRを行う。
	④	市民を対象とした観光農園の推進を行う。(H24～)

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アパハ	再任用	その他
24決算	8,345	6,750	15,095	0	0	0	15,095	0.95	0.00	0.00	0.10
25当初予算	5,470	8,065	13,535	0	0	0	13,535	0.00	0.00	0.00	0.00
26当初予算	1,800	8,065	9,865	0	0	0	9,865	0.00	0.00	0.00	1.05

25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	委託料	地産地消推進事業	4,800		委託料	地産地消推進事業	1,800
負担金補助及び交付金	パイプハウス導入補助	670					
	合計(A)		5,470		合計(B)		1,800

予算増減 (B)-(A)	-3,670	主な理由	明石市水産物消費拡大地産地消推進事業、明石産水産物の学校教育等への提供の見直し。 パイプハウス導入補助の見直し。
-----------------	--------	------	---

平成26年度 予算事業説明シート

事務事業名	農業用施設維持管理事業	新規/継続	継続事業	事務事業の総点検の整理番号	0150003000-006	
		予算所管課	産業振興部農水産課			
		連絡先	(078)918-5017			
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課			
	款	農林水産業費	連絡先			
	項	農業費	自治/法定	自治事務	開始年度	不明
	目	農地費	根拠法令・要綱等	法定外公共物管理条例 土地改良法		
	事業	農業用施設維持管理事業				
施策分野	3 産業・観光分野 3-2 農業の振興		実施方法	直営 <input type="radio"/>	補助・助成 <input type="radio"/>	その他 <input type="radio"/>
個別計画				委託 <input type="radio"/>	指定管理 <input type="radio"/>	

事業の目的	対象（誰を・何を）	農業者及び地域住民				
	意図（どういう状態にしたいのか）	農業者への改修用資材支給や農業用施設維持管理工事、土地改良施設維持管理適正化事業などを実施し、農業用施設の維持管理及び施設機能の保全に寄与する。				

事業内容	【事業内容】	1. 農道、水路など農業用施設の緊急維持補修を行う。 2. 水利組合に対して、農業用施設の維持補修に必要な改修資材を支給する。 3. 水路境界ため池台帳システムの保守更新を行う。 4. 農業者と地域住民が共同で農業用施設の保全に取り組むことを目的とした農地・水保全管理支払交付金にかかる市負担金の支払い。 ①共同活動支援 ・10aにつき3,300円を10ため池協議会へ支給 ②向上活動支援 ・10aにつき4,400円を2ため池協議会へ支給 5. 土地改良施設維持管理適正化事業にともなう兵庫県土地改良事業団体連合会への負担金の支払い。 ①農業用施設の補修に必要な経費を5年間均等に積み立て、その5年間の定められた年度に整備補修を実施する事業 ②地区 ・瀬戸川塚の脇井堰 ・清水川No.36、上川井堰 6. 土地改良施設維持管理適正化事業工事 ①清水川No.36、上川井堰改修工事				
------	--------	---	--	--	--	--

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	2/3ハハ	再任用	その他
24決算	23,695	15,540	39,235	6,593	0	6,179	26,463	正規	2.60	2/3ハハ	0.25
25当初予算	23,959	22,680	46,639	7,281	0	6,193	33,165	再任用	0.00	その他	0.00
26当初予算	24,238	22,680	46,918	7,291	0	6,006	33,621	任期付	0.25	合計	3.10

25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	農業用施設改修資材 消耗品費ほか	2,664		需用費	農業用施設改修資材 消耗品費ほか	2,611
委託料	システム保守管理業務委託	1,812	委託料	システム保守管理業務委託	2,636		
工事請負費	農業用施設維持管理費	15,500	工事請負費	農業用施設維持管理費	15,500		
負担金補助及び交付金	農地・水保全管理支払交付金ほか	3,882	負担金補助及び交付金	農地・水保全管理支払交付金ほか	3,380		
その他	旅費、食糧費、使用料	101	その他	旅費、食糧費、使用料	111		
合計(A)			23,959	合計(B)			24,238

予算増減 (B)-(A)	279	主な理由	監視カメラシステム導入により保守業務費が増加したため。
-----------------	-----	------	-----------------------------

平成26年度 予算事業説明シート

事務事業名	土地改良事業	新規/継続	継続事業	<small>事務事業の総点検の整理番号</small>	0150003000-007				
		予算所管課	産業振興部農水産課						
		連絡先	(078)918-5017						
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課						
	款	農林水産業費	連絡先						
	項	農業費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 24 年度			
	目	農地費	根拠法令・要綱等	土地改良法					
	事業	土地改良事業							
施策分野	3 産業・観光分野 3-2 農業の振興		実施方法	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>
個別計画	農業基本計画			委託	<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>		

事業の目的	対象（誰を・何を）	農業者及び地域住民
	意図（どういう状態にしたいのか）	市単独事業及び国庫補助事業により農業用施設の補修及び改修を実施し、農業災害の防止と農業生産基盤の整備を行う。

事業内容	【事業内容】	<p>1. ため池、水路の不法投棄物の処分を行う。</p> <p>2. 水路の不法占用物件調査等、市として境界測量が必要な箇所について境界測量を行う。</p> <p>3. 農業災害の防止と農業生産の維持を目的に、地域要望に基づきため池や水路の補修及び改修を行う。</p> <p style="margin-left: 20px;">①寛政池水路改修工事</p> <p style="margin-left: 20px;">②瀬戸川2号井堰補修工事</p> <p>4. いなみ野ため池ミュージアム運営協議会への負担金の支払い。</p> <p>5. 地域ため池総合整備事業にともなう負担金の支払い。</p> <p style="margin-left: 20px;">①ため池の老朽化による災害を未然に防止し、地域住民が安心して暮らせるための環境整備を図る目的で実施する県営事業にかかる負担金</p> <p style="margin-left: 20px;">②地区</p> <p style="margin-left: 40px;">・清水地区</p> <p style="margin-left: 40px;">・松陰地区</p> <p style="margin-left: 40px;">・江井ヶ島地区</p> <p style="margin-left: 20px;">③負担率 国:50%県29%市14%地元7%</p> <p>6. 農業基盤整備促進事業</p> <p style="margin-left: 20px;">①寛政池地区整備工事</p> <p style="margin-left: 20px;">②補助率 国:50%県6.5%</p> <p>7. 流域貯留浸透事業</p> <p style="margin-left: 20px;">①17号池地区改修工事</p> <p style="margin-left: 20px;">②補助率 国:1/3県:2/3</p>
-------------	---------------	--

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)							
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	2.10	ア/バ/ハ	0.25	再任用	0.50	その他	0.00
24決算	104,753	15,540	120,293	33,218	44,600	16,010	26,465								
25当初予算	109,366	20,230	129,596	52,542	45,100	6,325	25,629								
26当初予算	101,799	20,230	122,029	55,650	18,700	23,800	23,879								
								任期付	0.25	合計	3.10				

25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	消耗品費ほか	284		需用費	消耗品費ほか	274
委託料	ため池クリーン事業 江井ヶ島地区農道拡幅工事委託ほか	97,300	委託料	ため池クリーン事業	1,458		
工事請負費	農業基盤整備促進事業ほか	6,490	工事請負費	農業基盤整備促進事業 流域貯留浸透事業	81,400		
負担金補助及び交付金	土地改良事業負担金	4,987	負担金補助及び交付金	土地改良事業負担金	18,377		
その他	旅費、使用料ほか	305	その他	旅費、使用料ほか	290		
合計(A)			109,366	合計(B)			101,799

予算増減 (B)-(A)	-7,567	主な理由	国の補正予算に伴い、農村地域防災減災事業および農業基盤整備促進事業の一部を平成26年度繰越明許費へ組換えたため。
-----------------	--------	------	--

平成26年度 予算事業説明シート

事務事業名	国営東播用水農業水利事業		新規/継続	継続事業	<small>事務事業の総点検の整理番号</small>	0150003000-008			
			予算所管課	産業振興部農水産課					
			連絡先	(078)918-5017					
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課						
	款	農林水産業費	連絡先						
	項	農業費	自治/法定	自治+法定	開始年度	平成 2 年度			
	目	農業構造改善事業費	根拠法令・要綱等	土地改良法					
	事業	国営東播用水農業水利事業							
施策分野	3 産業・観光分野 3-2 農業の振興		実施方法	直営	補助・助成	その他	○		
個別計画			委託	指定管理					

事業の目的	対象（誰を・何を）							
	東播用水受益地農業者							
事業の目的	意図（どういう状態にしたいのか）							
	東播用水受益地に東播用水を安定的に供給することにより、受益地農業者の農業生産力の向上を図る。							

事業内容	1. 国営東播用水事業における維持管理及び総合管理にともなう負担金							
	①国営土地改良事業負担金 国営東播用水事業一期事業における負担金の明石市償還分 ②東播用水土地改良区維持管理賦課金 東播用水の維持管理にかかる東播用水土地改良区への賦課金 ③総合管理事業負担金 東播用水の総合管理にかかる負担金							

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	1/10 1/10	再任用	その他
24決算	21,513	9,240	30,753	362	0	12,715	17,676	正規	1.60	1/10 1/10	0.25
25当初予算	18,694	16,080	34,774	425	0	11,798	22,551	再任用	0.50	その他	0.00
26当初予算	14,661	16,080	30,741	425	0	9,351	20,965	任期付	0.25	合計	2.60

25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	旅費	東播用水二期事業関係旅費	70		旅費	東播用水二期事業関係旅費	70
需用費	東播用水二期事業説明会食糧費	20	需用費	東播用水二期事業説明会食糧費	10		
負担金補助及び交付金	国営土地改良事業負担金ほか	18,604	負担金補助及び交付金	国営土地改良事業負担金ほか	14,581		
合計(A)			18,694	合計(B)			14,661

予算増減(B)-(A)	-4,033	主な理由	国営土地改良事業負担金(一期事業償還額)の減少のため。
--------------------	--------	-------------	-----------------------------

平成26年度 予算事業説明シート

事務事業名	水産一般振興事業	新規/継続	継続事業	<small>事務事業の総点検の整理番号</small>	0150003000-010				
		予算所管課	産業振興部農水産課						
		連絡先	(078)918-5017						
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課						
	款	農林水産業費	連絡先						
	項	水産業費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 31 年度			
	目	水産業振興費	根拠法令・要綱等	明石市補助金等交付規則、明石市水産業補助金交付要綱、消防法					
	事業	水産一般振興事業							
施策分野	3 産業・観光分野 3-3 水産業の振興		実施方法	直営		補助・助成	○	その他	
個別計画	水産業振興計画			委託	○	指定管理			

事業の目的	対象（誰を・何を）	市内に住所を有する水産業協同組合法で定める水産業協同組合及びその組合員。
	意図（どういう状態にしたいのか）	沿岸漁業の近代化を図り、経営の合理化と安定化を図る。 明石タイ・タコ・ノリ等の水産物や、スイートコーン・キャベツ・イチゴ等の農産物等、明石の数々の製品の国内外における認知を高め、販路開拓や市場拡大を図り、併せて高付加価値化による収益性の向上を図る等、農業・漁業の活性化と経営安定化を目指す。

事業内容	①多目的倉庫の維持管理を行う。（平成8年から） 警備業務・消防設備点検業務等	
	②明石産品ブランド化事業 ブランド化を進めるため、「新商品の開発」、明石産品の「プロモーション販売」の開催やメディアを駆使した「PR」などの事業を広く展開する。	
	(実績)	H24: 西武高槻店、よしもと47ご当地市場で「明石観光物産展」を開催。東京明石会で明石産品のPRを実施。 H25: 東京丸の内「ひょうご食のプレミアム in Tokyo」に出展し、明石産品のPRを実施。
	(財政計画)	①漁業操業安全推進事業 漁船保険の個人負担保険料の14.0%を補助。(S.31～)[財政計画] ②漁業近代化資金等補助事業 漁業近代化資金の貸付実行額の1.6%以内を補助。 豊かな海づくり資金の貸付実行額の0.8%以内を補助。(S.44～)[財政計画] ③のり養殖経営安定対策事業 特定養殖共済(のり共済)の契約者負担額の14.0%を補助。(H.8～)[財政計画]

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	0.65	7/11/1	0.00
24決算	57,435	6,720	64,155	0	0	0	64,155	再任用	0.00	その他	0.00
25当初予算	4,335	5,395	9,730	0	0	3	9,727	任期付	0.00	合計	0.65
26当初予算	3,823	5,395	9,218	0	0	3	9,215				

25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	旅費	近接地旅費	540		旅費	近接地旅費	340
需用費	消耗品、修繕料、食糧費、光熱水費	133	需用費	消耗品、修繕料、食糧費、光熱水費	135		
役務費	多目的倉庫電話使用料	72	役務費	多目的倉庫電話使用料	74		
委託料	多目的倉庫警備業務委託 明石産品ブランド化事業	2,762	委託料	多目的倉庫警備業務委託 明石産品ブランド化事業	3,270		
負担金補助及び交付金	(負担金)兵庫県沿岸漁業振興協議会負担金	828	負担金補助及び交付金	(負担金)兵庫県のり養殖技術者研修会負担金	4		
負担金補助及び交付金	(財計)漁業操業安全推進事業など(59,312)		負担金補助及び交付金	(財計)漁業操業安全推進事業など(42,600)			
合計(A)			4,335	合計(B)			3,823

予算増減(B)-(A)	-512	主な理由	平成25年度に兵庫県沿岸漁業振興協議会と兵庫県漁港協会の組織合併により兵庫県漁港漁場協会に統一された。これにより年会費を漁港管理事業に統一したため。
--------------------	-------------	-------------	--

平成26年度 予算事業説明シート

事務事業名		栽培漁業推進事業	新規/継続	継続事業	事務事業の総点検の整理番号	0150003000-011		
			予算所管課	産業振興部農水産課				
			連絡先	(078)918-5017				
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課					
	款	農林水産業費	連絡先					
	項	水産業費	自治/法定	自治事務	開始年度	不明		
	目	水産業振興費	根拠法令・要綱等	漁業法、水産資源保護法、持続的養殖生産確保法				
	事業	栽培漁業推進事業		実施方法	直営	○	補助・助成	
施策分野	3 産業・観光分野	委託	○		指定管理			
個別計画	水産業振興計画							
事業の目的	対象（誰を・何を）							
	水産資源							
事業内容	意図（どういう状態にしたいのか）							
	マダイ、マダコ、ヒラメはじめとする魚介類は気象、海況、自然の条件により漁獲量が変動し、減少することが多いことから主要な水産種苗を適地に放流することで資源維持の底支えを図り、より安定した漁獲高が上がるようにする。							
事業内容	①漁業者から聞き取りなどを行い、明石市地先の沿岸海域に適した種苗を種苗生産施設から調達し、適地に放流する。 マコガレイ、ヒラメ、メバル、オニオコゼ、マダイを放流する。 (実績) H23: マコガレイ、ヒラメ、メバル、オニオコゼ、マダイを放流。 H24: マコガレイ、ヒラメ、メバル、オニオコゼ、マダイを放流。 H25: マコガレイ、ヒラメ、メバル、オニオコゼ、マダイを放流。							
	②兵庫県漁業調整規則34条の3で規定された稚魚育成漁場(禁漁区)の適切な管理を行う。 ③マダコ産卵用タコツボを明石市地先の好適地へ投入する。 明石市地先海域へタコツボ3,100個を投入する。 (実績) H23: 明石地先海域へタコツボ3,200個を投入。 H24: 明石地先海域へタコツボ3,200個を投入。 H25: 明石地先海域へタコツボ3,200個を投入。							

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アパハ	その他
24決算	4,087	5,040	9,127	0	0	0	9,127	0.55	0.00	0.00
25当初予算	4,113	4,565	8,678	0	0	0	8,678	0.00	0.00	0.00
26当初予算	4,092	4,565	8,657	0	0	0	8,657	0.00	0.00	0.55
25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額			
	旅費	近接地旅費	26		旅費	近接地旅費	10			
	需用費	産卵用たこつぼ購入費	1,613		需用費	産卵用たこつぼ購入費	1,608			
	委託料	栽培漁業推進事業運営委託料等	2,474		委託料	栽培漁業推進事業運営委託料等	2,474			
	合計(A)		4,113		合計(B)		4,092			
予算増減(B)-(A)		-21	主な理由	・旅費の削減のため						

平成26年度 予算事業説明シート

事務事業名	漁港管理事業	新規/継続	継続事業	<small>事務事業の総点検の整理番号</small>	0150003000-013			
		予算所管課	産業振興部農水産課					
		連絡先	(078)918-5017					
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課					
	款	農林水産業費	連絡先					
	項	水産業費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 20 年度		
	目	漁港管理費	根拠法令・要綱等	漁港漁場整備法				
	事業	漁港管理事業						
施策分野	3 産業・観光分野 3-3 水産業の振興	実施方法	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="radio"/>
個別計画	水産業振興計画		委託	<input type="checkbox"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>		

事業の目的	対象（誰を・何を）	林崎漁港を主とする市管理の4漁港
	意図（どういう状態にしたいのか）	利用者の安全の確保、環境美化の向上、施設の適正な維持を行い、良好な漁業活動ができること。また林崎漁港の親水、休憩施設については市民等が快適に利用できるようにする。

事業内容	①漁港の維持管理事業	<p>■漁港施設機能強化事業：(林崎漁港)</p> <p>地震や波浪、津波等による自然災害から漁港・漁村を守るため、漁港施設の機能診断や老朽化点検を実施した結果に基づき、防波堤の嵩上げや岸壁の耐震化対策などにより施設の機能強化に取り組む。</p> <p>■H23年度に実施した水産物供給基盤機能保全事業(ストックマネジメント事業)で策定された機能保全計画に基づき、漁港施設の長寿命化を図りつつ更新コストを平準化するように保全工事を順次行う。(林崎漁港・魚住漁港)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・街路灯維持補修工事 ・修景緑地等清掃維持作業 ・漁港施設補修工事 ・定期的な安全確認
	(実績)	<p>H24: 林崎漁港内の浮棧橋を撤去。</p> <p>H25: 魚住漁港の消波ブロック積み替え工事を施工。</p>

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	0.50	7/10	0.00
24決算	11,806	4,620	16,426	0	0	0	16,426	再任用	0.00	その他	0.00
25当初予算	16,313	4,150	20,463	0	0	8,593	11,870	任期付	0.00	合計	0.50
26当初予算	54,718	4,150	58,868	20,000	0	8,588	30,280				

区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
旅費	近接地旅費	50	旅費	近接地旅費	50
需用費	消耗品、修繕料、光熱水費(電気・水道)	2,670	需用費	消耗品、修繕料、光熱水費(電気・水道)	3,270
役務費	プレジャーボート、放置車両所有者照会手数料	10	役務費	プレジャーボート、放置車両所有者照会手数料	10
委託料	林崎漁港緑地等環境保全維持作業	2,608	委託料	漁港施設耐震機能診断・漁港緑地等環境保全維持作業	44,648
工事請負費	林崎漁港内街路灯維持補修工事・漁港施設補修工事	10,900	工事請負費	林崎漁港内街路灯維持補修工事・漁港施設補修工事	5,900
負担金補助及び交付金	兵庫県漁港協会年会費	75	負担金補助及び交付金	兵庫県漁港漁場協会年会費	840
合計(A)		16,313	合計(B)		54,718

予算増減(B)-(A)	38,405	主な理由	<ul style="list-style-type: none"> ・林崎漁港西トイレ建て替えに伴う水道使用量増加のため。 ・漁港施設機能強化事業への新規取り組みによる委託費増加のため。 ・年会費を水産一般振興事業から漁港管理事業に統一したため。
--------------------	--------	-------------	---

平成26年度 予算事業説明シート

事務事業名	沿岸漁場整備・構造改善事業	新規/継続	継続事業	事務事業の総点検の整理番号	0150003000-014	
		予算所管課	産業振興部農水産課			
		連絡先	(078)918-5017			
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課			
	款	農林水産業費	連絡先			
	項	水産業費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 61 年度
	目	沿岸漁業構造改善事業費	根拠法令・要綱等	水産基本法、漁港漁場整備法、環境・生態系保全対策実施要領、環境・生態系保全活動支援交付金要綱、(県)豊かな海創生支援交付金等交付要綱		
	事業	沿岸漁場整備・構造改善事業				
施策分野	3 産業・観光分野 3-3 水産業の振興		実施方法	直営	補助・助成	その他
個別計画	水産業振興計画		委託	指定管理		○

事業の目的	対象(誰を・何を)	明石市沿岸海域 漁場環境
	意図(どういう状態にしたいのか)	漁業生産力の向上、稚魚の育成場としての水域確保と資源保護を行う。 漁場環境を改善し、豊かな漁場としての機能を高める。

事業内容	<p>①「水産多面的機能発揮活動支援事業」(平成25年度～平成27年度) 藻場・干潟等の保全と機能回復を図るため、浅場での海底耕耘、二枚貝放流や魚食文化の伝承等の漁業者を中心とした活動を支援する。 市が事業費の約4分の1の500万円を負担。 (国費50/100 県費25/100 市費25/100)</p> <p>※「環境・生態系保全活動支援事業」から「水産多面的機能発揮活動支援事業」に名称変更された。</p> <p>②鹿之瀬漁場開発協議会 ※明石市、淡路市、漁業者の3者で構成し、漁場造成と種苗放流を行っている。 (通常会費10万円、事業負担金490万円。) ・魚礁設置事業として、鋼製魚礁を2基設置する。 ・放流事業として、ヒラメを明石市、淡路市の地先漁場に放流する。 ・調査事業として、鹿之瀬及び周辺漁場において試験操業、潜水調査する。</p> <p>(実績) H25年: ・魚礁設置事業として、鋼製魚礁を2基、鹿之瀬海域に設置。 ・放流事業として、ヒラメを明石市、淡路市の地先漁場に放流。 ・調査事業として、鹿之瀬及び周辺漁場において試験操業、潜水調査等による漁場調査を行い、魚礁の設置状況、魚類の増集及び付着生物の状況などの実態を把握。(S.61～)</p>
-------------	---

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	非常勤	再任用	その他
24決算	10,544	5,880	16,424	200	0	0	16,224	正規	0.65	非常勤	0.00
25当初予算	10,672	5,395	16,067	200	0	0	15,867	再任用	0.00	その他	0.00
26当初予算	10,583	5,395	15,978	200	0	0	15,778	任期付	0.00	合計	0.65

区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
旅費	近接地旅費	150	旅費	近接地旅費	100
需用費	消耗品費	250	需用費	消耗品費	230
使用料及び賃借料	備船料	160	使用料及び賃借料	備船料	160
負担金補助及び交付金	(負担金)環境・生態系保全対策 鹿之瀬開発協 等	10,112	負担金補助及び交付金	(負担金)鹿之瀬開発協 等	5,093
			負担金補助及び交付金	(補助金)水産多面的機能発揮 対策	5,000
合計(A)		10,672	合計(B)		10,583

予算増減 (B)-(A)	-89	主な理由	・旅費、需用費の削減のため
-----------------	-----	------	---------------

平成26年度 予算事業説明シート

事務事業名	沿岸漁業構造改善事業	新規/継続	継続事業	<small>事務事業の総点検の整理番号</small>	0150003000-015		
		予算所管課	産業振興部農水産課				
		連絡先	(078)918-5017				
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課				
	款	農林水産業費	連絡先				
	項	水産業費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 20 年度	
	目	沿岸漁業構造改善事業費	根拠法令・要綱等	産地水産業強化支援事業実施要綱、産地水産業強化支援事業交付要綱、兵庫県農林水産部補助金交付要綱、水産資源回復対策施設整備費補助要綱			
	事業	沿岸漁場整備・構造改善事業					
施策分野	3 産業・観光分野 3-3 水産業の振興	実施方法	直営	補助・助成	○	その他	
個別計画	水産業振興計画	委託		指定管理			

事業の目的	対象（誰を・何を）	市内ノリ養殖業協業体
	意図（どういう状態にしたいのか）	輸入品に対し品質面・価格面に対抗できるよう経営体質を強化する。

事業内容	「ノリ養殖経営構造改善事業」 ノリ養殖業関係施設の導入に対する補助金の交付(国費50/100 県費6/100)	
	H26年度分:	大型ノリ自動乾燥機及び周辺機器導入 1件 ノリ高性能刈取船導入 1件
	(実績)	H23: 大型ノリ自動乾燥機及び周辺機器導入 4件
	(H24.3月補正分)→H24年度へ繰越分:	大型ノリ自動乾燥機及び周辺機器導入 3件 ノリ高性能刈取船導入 2件
	H24当初分: 事業なし	
	(H25.3月補正分)→H25年度へ繰越分:	ノリ高性能刈取船導入 4件
	(H26.3月補正分)→H26年度へ繰越分:	大型ノリ自動乾燥機及び周辺機器導入 1件 ノリ高性能刈取船導入 1件

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	0.60	7/11/1	0.00
24決算	180,767	0	180,767	180,714	0	0	53	再任用	0.00	その他	0.00
25当初予算	168,090	4,980	173,070	169,500	0	0	3,570	任期付	0.00	合計	0.60
26当初予算	84,050	4,980	89,030	84,750	0	0	4,280				

25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	旅費	近接地旅費	90		旅費	近接地旅費	50
負担金補助及び交付金	(補助金) ノリ養殖業経営構造改善事業	168,000	負担金補助及び交付金	(補助金) ノリ養殖業経営構造改善事業	84,000		
合計(A)			168,090	合計(B)			84,050

予算増減(B)-(A)	-84,040	主な理由	ノリ養殖業経営構造改善事業の実施件数の減少のため。
--------------------	----------------	-------------	---------------------------